



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585

京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313

FAX 0771-25-7312

http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
新任医師自己紹介	2.3
その他新任職員紹介		
コミュニティバスのお知らせ	4
糖尿病教室開催のお知らせ	4
認知症サポートナースの活動	5
トピックス	6
地域連携室の執務室移転について		
病院職員紹介		
地域連携医のご紹介	7
編集後記		
外来担当医表	8



亀岡市立病院広報誌

ごあいさつ

市立病院は今年の6月で開院13年目を迎える事となりましたが、本院も例に漏れず医師不足が大きな問題となり、昨年の4月には常勤内科医師が3名になり患者様、地域の医療機関にご迷惑をお掛けしてまいりました。しかし、今年度より従来の6名体制となり非常勤の先生を含め開院以来最も充実した状況を迎えることができました。特に南丹病院から指導医クラスの上級医師2名のお手伝いも頂いており、それに加え京都府立医科大学から色々な診療科で非常勤の先生方の御協力を得て、15名の常勤医だけでは力バーできない部分の充実に取り組んでいます。

そして患者様に当院を利用して頂き易くする目的で地域連携室を1階の玄関部分に移動しました。従来の総合受付、医療安全相談窓口、入院相談窓口の充実を図るとともに亀岡市の地域医療情報センターを地域連携室内に設け、種々の診療に関わるご相談に対応できる体制を整えることが出来ました。検査予約や入院に関わる業務も円滑に進めることが出来るよう、今後も機能の充実を図って参ります。しかしこれに伴い開院以来皆様にご利用いただいてきたレストラン部分が閉鎖せざるを得なかったことは残念であります。ですが、レストラン運営自体も赤字が続き、業者様にご迷惑をお掛けしていた経緯もありました。今後は売店の充実と売店前のラウンジ部分をより有効利用し、軽く飲食しながらお話しして頂けるよう机と椅子を設置していくつもりで頂けるスペースとしたいと考えております。

地域に認知され愛される市立病院を目指して職員一同努力しておりますので何卒ご協力の程お願いします。



亀岡市病院事業管理者
兼亀岡市立病院長事務取扱
兼地域医療情報センター長 玉井 和夫

新任医師紹介

内 科



- ①名 前 松尾 龍平(まつお りょうへい)
②年 齢 50歳
③出 身 神戸
④得意とする診療内容 内科専門医
⑤趣味など 読書
⑥皆さまへのメッセージ 出戻り

本を読むことはもちろん好きですが、それより本と出合うことが大好きです。

私にとって書店に入ることは「海」に潜ることと同じです。旅先でも時間があれば書店に入ります。初めての大きな書店に入るときは、知らない深い海に潜るようで少し緊張します。長い時間滞在して酔いを覚えるときもあります。そういうときは、併設のカフェで一休みして、また本の海を泳ぎます。普段行く書店は決めており、だいたい複数の書店を梯子(はしご)します。毎日のように同じ書店に行きますが、これは猫の散歩のようなものかと自分で思っています。あらかじめ、新聞の書評を見て気になった本を、探しに行ったのに、結局はそれとは違う本を買って帰ることが多いです。知らない本を偶然見つけ

ると、とても幸せな気分で満たされます。

以前ここで働いていたことがあります。転勤して2年ほど別の病院にいました。戻ってこられたのは、単に偶然かもしれません、「全ての出来事には因縁がある」という仏教の教えもあり、どこの誰かは存じませんが「御陰様でありがとうございました」と感謝しています。誰かに受けた恩を、別の誰かにまた仕事で返すことができれば、そう思っております。診療に当たっては、周辺の医療機関群とお互いに連携して「無理、むら、無駄のない医療」を提供することを心がけています。エビデンスやガイドラインを参考にしつつも、皆様それぞれにあった治療を提案できるように日々努めて参ります。

外 科



- ①名 前 荒木 康伸(あらき やすのぶ)
②年 齢 42歳
③出 身 奈良
④得意とする診療内容 消化器外科 一般外科
⑤趣味など おいしいお酒と料理

⑥皆さまへのメッセージ

前任地の大坂守口市にある松下記念病院より赴任してまいりました。専門は上記のとおり消化器外科となり、京都府立医科大学 消化器外科医局に属しております。

出身は奈良ですが、京都縦貫道の全面開通により奈良と亀岡との行き来が非常に快適になりました。ありがとうございます。

治療方針に関しては、基本はガイドラインに準じた治療をおこなっていくことになりますが、患者様の個々の背景・環境に応じた治療を患者様と相談のうえ、納得していただける治療をおこなってまいります。

現在の消化器癌の治療は手術としては腹腔鏡手術が広くおこなわれるようになり、化学療

法に関しては既存の抗がん剤や分子標的治療にとどまらず、今後免疫チェックポイント阻害剤と呼ばれる新薬もまもなく登場する予定となり、新しい段階を迎えています。新しい技術・薬剤を積極的におかつ安全性を損なわず取

り入れながら、亀岡における消化器癌治療を発展させるべく尽力する所存です。まだまだ亀岡の地は不慣れではありますが、地域の皆様のニーズに応えるべく頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

整形外科



- ①名 前 池上 徹(いけがみ あきら)
②年 齢 31歳
③出 身 京都府
④得意とする診療内容 整形外科
⑤趣味など テニス、サッカー、スキー、ゴルフ、マラソンなど
スポーツ全般、旅行

⑥皆さまへのメッセージ

このたび平成28年4月より整形外科医員に着任しました池上 徹です。

3月までは京都府立医科大学で大学院生として特発性大腿骨頭壞死症に関する研究に携わっていました。

亀岡は、生まれ育ちの場所から近く、学生時代には学習塾に通っていた思い出の場所でもあります。

私にとってかかわりの深いこの地域で医療に携われることを大変うれしく思います。

大学時代は硬式テニス部に所属しており、プレースタイルとしては粘るテニスでした。この学生時代に培った粘りの精神・精神力は医療にも通ずるものがあると考えております。

一筋縄ではいかない医療においてもあきらめず粘り強く一筋の解決の糸口を探ってゆく、そんなスタイルにもっていけたら理想です。

患者様の訴えにしっかりと耳を傾け、最善の治療を選択し、術後のリハビリにも誠心誠意取り組んでいく所存であります。

今後も臨床経験豊富な先生のもと整形外科医としての研鑽を積み、少しでも地域の医療に役立てたらと思います。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



整形外科 大学医局 サッカー部の仲間

その他新任職員



先に紹介した医師の他にも、診療放射線技師、看護助手、事務職員を新たな仲間として迎えました。

今回採用のメンバーは、他の医療機関で十分に経験を積んだ者、病院で働くことが初めての者など様々ではありますが、一日も早く各自の仕事に慣れ、皆さまのお役に立てるよう努めて参りますので、今後ともよろしくお願ひします。

コミュニティバスのお知らせ



現在、篠地区において、コミュニティバスの試験運行が実施(事業主体:亀岡市)されています。亀岡市立病院や馬堀駅も通る路線ですので、当院へのアクセスも便利になりました。

詳しい情報は、亀岡市のホームページに掲載されています!!

ホーム → くらし → 暮らし・環境 → 交通・道路・河川 →

バス → 篠地区コミュニティバスの試験運行について

また、当院のホームページ(トップページ)にもリンクしていますので、ご覧いただけます。

亀岡市立病院糖尿病教室開催のお知らせ

亀岡市立病院では、毎月第3火曜日の午後1時から亀岡市立病院2階のウェルネスホールにて糖尿病教室を開催しております。

事前申込は不要です。興味のある方は直接会場へお越しください。

場 所 : 亀岡市立病院 2階 ウェルネスホール

時 間 : 午後1時から2時頃までの予定

申 込 : 不要です。興味のある方ならどなたでも参加出来ます。

開催日	講 師	講 義 内 容	備考(体験等)
6月21日(火)	臨床検査技師	検査で知ろう あなたの体	血糖自己測定
7月19日(火)	管理栄養士	目で見て知ろう あなたの適量	フードモデル
8月16日(火)	看 護 師	自分の足をみてみよう	フットケア
9月20日(火)	薬 剤 師	お医者さんから注射を勧められたら…	インスリン 自己注射

認知症サポートナースの活動について



2007年から超高齢社会に突入し、当院でも高齢の患者様・認知症の患者様が入院される事が多くなりました。これからは、社会全体で高齢者を支えていく時代になります。入院という環境は、患者様にとって、不安や苦痛を伴い認知症症状の悪化を招く事も少なくありません。私たち認知症サポート看護師は、認知症について学び、認知症看護の推進に日々取り組んでいます。

スタッフを対象とした学習会の開催、事例検討、認知症カンファレンス、レクレーション療法などをおこない、患者様が安心して療養生活が送れるように活動を進めています。レクレーション療法は、平日、月～金曜 13時～14時 4F 2病棟ラウンジで開催しています。レクレーション療法では、看護師、看護助手とともに「かるた」や「塗り絵」「貼り絵」「歌」「体操」などを実施しています。看護師とのコミュニケーションだけでなく、患者様同士の会話から笑顔が生まれたり、お互いが思いやり、譲り合いながらレクレーションに取り組まれたりと、とても温かく感じられる時間です。参加される患者様や御家族は「毎日楽しみにしている」といきいき過ごしておられる方が多く、入院生活の中の楽しみとして活用して頂いています。

患者様や御家族の不安の軽減に努め、入院生活が安全に過ごせるよう、サポートしていくと考えています。



Topics : 地域連携室が移転しました

地域連携室では、地域の病院や開業医の先生方からご紹介いただいた患者さんのご予約等をお受けしていますが、この度、2階から1階フロアへ移転しました。玄関を入って右手の場所に位置し、外来の患者さんも相談をしていただきやすくなると考えております。

業務内容については、これまでと同様に当院の予約業務等に加え、今後は、往診を希望される方へ往診いただける医療機関を調整する「亀岡市地域医療情報センター」を、亀岡市から引き継ぎ担つて参ります。

これからも患者さんが、切れ間のない医療を安心して受けていただけるよう、また、医療介護福祉に関する相談については、地域で担当される方々と連携しながら支援させていただきます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

【主な業務内容】

- 地域の病院や開業医の先生方からご紹介いただいた患者さんの診察や検査予約の受付や、患者さんの病状に合わせてかかりつけの先生方の受診をいただく様な医療連携を図ります。
- 患者さんの病状に応じて、専門的な医療機関を受診いただくための連携を図ります。
- 患者さんやご家族が療養上抱えておられるお悩みや相談をお受けし、患者さんにとって必要な支援をさせていただきます。
- 退院時、継続的な介護及び看護が必要な患者さんへは、在宅療養を支援する関係機関と連絡調整を行い、必要な情報提供を行います。
- 人間ドックを始め、前立腺がん検診等の健(検)診事業を行っています。



【担当スタッフ】

- 室長(医師)をはじめ、看護師、医療ソーシャルワーカー及び事務職員が承ります。



病院職員紹介



リハビリテーション科
理学療法士
田井みづ穂

リハビリテーション科理学療法士の田井みづ穂です。去年の11月より亀岡市立病院に入職し、半年が過ぎました。

私は学生の頃から音楽が好きで、好きなバンドのライブによく行きます。学生の頃はひとりでライブに行くのを躊躇していましたが、最近はひとりライブも行けるようになってしまいました…。ジャンルはロックが好きで、野外のロックフェスティバルによく行きます。遠いところでは茨城県まで行きました。今年は香川県まで足を伸ばそうと計画しています。

今年もいくつかライブに行って、踊っ

て、首を振り、腕を振り上げ…ていたら、腕が痺れてしまいました。そういう方が私以外におられましたら、是非整形外科を受診してください。



地域連携医のご紹介

当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

ふじわら小児科内科医院

院長：藤原 史博

住所：亀岡市古世町西内坪32-1 ラポール2F

T E L：0771-29-2662

標榜科目：小児科、内科

診療時間：午前8:45～12:30、午後4:45～7:30（予約制）

休診は土曜日午後、水・日曜日、祝日



院長より一言

南郷公園前で開業してもうすぐ18年、公立南丹病院小児科勤務と併せるところに移り住んで24年になりました。有能で素晴らしい看護師、事務スタッフ、そして事務長（妻です）に助けられ支えられて日々診療できていることを感謝しています。有難い事に診療していた赤ん坊達がお父さんやお母さんとなり、今やその子供達も診察室で診るという素晴らしい再会を楽しませて貢っています。近年の便利社会ゆえのストレスが子供をも巻き込んで、診察室では単に子供の病気を診る、ということではなくなっています。その病気を持つに至った環境にいる子供を診るという視点を持ち続けて今後も診療していきたいと思います。

玉井院長はじめ亀岡市立病院の先生方、スタッフの方々にはいつも大変お世話になっています。院長のご尽力で各分野の専門医も赴任され、ますます顔の見える病診連携が深められていくと期待しています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

編集後記

医療を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。2025年問題という言葉をお聞きになったことはございますでしょうか。

団塊世代が後期高齢者になるのがこの年あたりと言われており、これらの方が多いの医療費を使われると国民皆保険制度が崩壊してしまうと懸念されております。そのなかで世界一多いとされる急性期病院は減らす方向性ははっきりしており、慢性期、そして終末期を主として診ていく病院へとシフトしていくことが予想されます。亀岡にある病院群のなかでどのように役割分担をして亀岡市内で安心な老後を過ごしていただけるようにできるのか、市民の皆様とともに考えていく必要があります。そのためにもいろいろなご意見、要望をお寄せいただき、必要性の高い分野に医療資源を集中させていくことが求められています。

広報委員会委員長 田中 宏樹（診療部長 兼 外科主任部長）

広報誌読者からのご意見等募集案内

本誌『桔梗』の表紙や挿絵に掲載させて頂く写真やイラストを募集させて頂きます。テーマの規定はありません。みなさまより多数のご応募を心よりお待ちいたしております。

採用、不採用に関わらず、写真やイラスト、画像データ等はご返却できませんのであらかじめご了承下さい。詳細につきましては、下記担当者までお問い合わせをお願い申し上げます。

【担当者】亀岡市立病院 病院総務課 西田 （平日、午前10時から午後3時まで）

外来担当医表 (平成28年4月~6月)

亀岡市立病院
Kameoka municipal hospital

診療科	月	火	水	木	金
消化器内科	うえ はら ゆきこ 上原 有紀子	せ ご ゆう や 瀬 古 裕也	あか だ よし ひさ 岡田 順久	——	岡田 順久
循環器内科	にし まさ ひろ 西 真宏	ふく い けん すけ 福居 顯介	もと やま しんいちろう 本山 晋一郎	福居 顯介	まつ お りょう へい 松尾 龍平
一般内科	き むら たい こう 木村 兑 弘	ひい ち なつ や 計 良 夏哉 志 村(予約のみ)	むら かみ まさ あ 村 上 雅朗	濱口 真英 木村 史子	木村 史子
神経内科	——	——	——	まつ うら じゅん 松浦 潤	——
糖尿病内科	——	——	はし もと よし たか 橋本 善隆	——	ああ さか たか ふみ 大坂 貴史
糖尿病内科 (午後)	——	——	はま ぐち まさ ひで 濱口 真英	濱口 真英	濱口 真英
ベースメーカー 外来	——	——	——	——	松尾 龍平 (偶数月の第2週)
皮膚科	——	——	かね まる ま い 金丸 麻衣	——	あさ い じゅん 浅井 純
泌尿器科	——	な や よし あ 納谷 佳男	——	——	——
泌尿器科 午後(2時~4時)	——	——	——	ぬく い まさ のり 温井 雅紀 (第2・4週)	——
外科1診	あく いけ りょうし 天池 寿(第1~3週) 荒木 康伸(第4週)	担当医	田中 宏樹	天池 寿	荒木 康伸
外科2診	——	みや もと ひい こ 宮本 景子 (乳腺)	——	ゆたか ようじろう 豊洋次郎 (呼吸器)	——
外科 午後(予約)	た なが ひろ き 田中 宏樹 (乳腺)	宮本 景子 (乳腺)	田中 宏樹 (乳腺)	——	——
麻酔科 (ペインクリニック)	はし もと とも こ 橋本 朋子	——	——	——	橋本 朋子
眼科	なが た けん じ 永田 健児	担当医	——	担当医	——
整形外科 1診	さか べ とも や 坂部 智哉	玉井 和夫 (予約のみ)	坂部 智哉	つじ さ よし ろう 辻 吉郎	辻 吉郎
整形外科 2診	いけ がみ あきら 池上 徹	池上 徹	池上 徹	——	担当医
整形外科 3診	たま い かず お 玉井 和夫	——	——	——	——
小児科	てら まち しん じ 寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二	寺町 紳二
小児科 午後(予約)	寺町 紳二 (循環器)	寺町 紳二 (予防接種)	寺町 紳二 (予約外来)	寺町 紳二 (循環器・アレルギー)	寺町 紳二 (予約外来)

亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する 京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。



JR馬堀駅から徒歩約5分 / 京都縦貫道篠インターから車で約5分 / 駐車(輪)場有

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312

<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/access/index.html>

「がんばろう日本」～亀岡市は平成28年(2016年)熊本地震被災地の復興を支援します～